

(6) 2017年(平成29年) 6月22日(木曜日)

6月5日は、1967年に勃発した六日戦争(第三次中東戦争)の第1日にあたり、戦後50周年に当たり世界中のユダヤ人たちが、この記念日を祝った。2000年ぶりに旧市街に戻ってきた。ダビデが王位に就き、エルサレムを都と定めた。以前は、北と南は、併合されておらず、王はイスラエル全部族を統合する必要があった。ヘブロンで7年半支配後、都をエルサレムに移した。現在の城壁からダビデの町へと下つて行くと、約20メートル下に、ヒゼキヤ王の作った構水路がある。その傍に、乾いた構道がある。そこをダビデ王の精銳の兵隊たちが、松明を灯して地表に上り戦つた。

ソロモン王の死後、国が分裂し、バビロニア帝国がエルサレムの神殿を破壊した。しかし、ユダヤ民族は、必ず自分との故郷に戻ってきた。紀元70年に、ローマ軍によりエルサレムは陥落し、バル・コ

六日戦争は、エジプトのナ

機30万7000、戦車は25

04台もあつた! 旧約聖書

の預言者たちにより「神はイ

スラエルの地にあなたを戻す」という神から受けた預言

## エルサレムの西壁に立つ

山本 真美子

南加リスト教教会連合

クバの反乱後、ユダヤ人は世界中に離散した。ユダヤ人とは、族長の一人、ヤコブの妻レア(\*ヤコブには二人の妻がいた)が、四男ユダを産んだ時に「私は、今主を褒め称

は、26万4000人、戦闘機は300機、800台の戦車に対し、アラブ軍団は、合計54万7000人の兵隊、戦闘機30万7000、戦車は2504台もあつた! 旧約聖書

の成就に違いない。

ユダヤ民族は、靈的にイスラエルの土地に結びついてい

る。世界中に離散した民は神の言葉を守り、エルサレムに上つた。何千年間を、世界のどの地で過ごすとも、故国

はイスラエルなのだ。「エル

サレムよ、もし、私があなた

を忘れるならば、わが右の手

を衰えさせてください」(詩篇137:5-6)

私たちが現在イスラエルに

旅し、エルサレムの地が踏めるのは、奇跡に値する感謝なことだ。多くの兵士が戦闘で流した血によってエルサレムが、ユダヤ人に戻ってきたか

らで、血を流すことなしに、真の解放はありえなかつた。

2000年前に、ダビデの孫イエスは、エルサレムに入場、十字架を負い罪のために死なれ、尊い血を流された。

これらの中から信仰者が西壁に行き、手を置いて祈ることもなかつただろう。イエスもこの壁で祈りをした。私たち

は、イエスにありイスラエルに接木された。神が守り約束を成就した場所、エルサレムの西壁に立ち祈つた。

(南加リスト教連合)